



腕や首など全身の血管が浮き出るほど、力の込められた練習でひたすら自分を鍛え上げる。8月の「大阪インターハイ」で頂点に立つため努力の日々が続く。写真は芦渡翔君（久慈工業高校3年=堀内）

この夏に、かける。

その昔、古代ギリシャで石を持ち上げ、力比べをした男たちがいた。

そして今、石をバーベルに持ち替え、「重量挙げ」に青春をかける男たちがいる。

岩手県立久慈工業高等学校の芦渡翔^{かける}（3年）、太田孝典（2年）、宮本英紀（同）の3人だ。

3人は共に普代中から同校に進み、重量挙げ競技を始めた。

7月9日、同校で行われた県民体育大会で3人共に上位入賞と活躍。

この夏にかける——。見逃せない3人を取材した。

